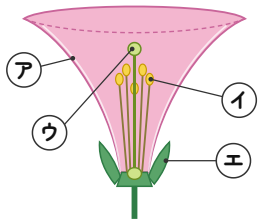
花から 実へ　① きほん　答え

ステップ 1／6　答え

1 アサガオの 花を たてに 切った 図です。ア〜エの 部分の 名前を 書きましょう。

1つ5点（20点）　きほん



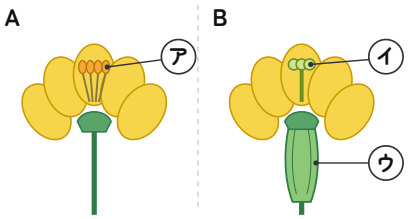
ア　花びら　　イ　おしべ

ウ　めしべ　　エ　がく

アサガオは、1つの 花の 中に おしべと めしべの 両方が あります。

2 ヘチマの 花には、おばなと めばなが あります。図を 見て 答えましょう。

1つ5点（20点）　きほん



(1) めばなは、A・Bの どちらですか。　B

(2) アは、おしべ・めしべの どちらですか。　おしべ

(3) イは、おしべ・めしべの どちらですか。　めしべ

(4) 実に なるのは、ア〜ウの どの 部分ですか。　ウ

めばなは、花びらの 下（めしべの もと）が ふくらんで いる。ここが 育って 実に なる。おばなには おしべ だけが ある。

3 （　）に あてはまる ことばを 書きましょう。

1つ5点（20点）　よく出る

・おしべの 先から 出る 粉を （花粉） と いいます。

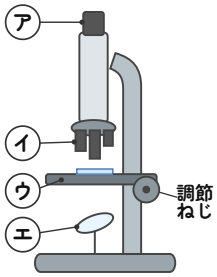
・花粉が めしべの 先に つく ことを （受粉） と いいます。

・受粉すると、めしべの もとが 育って （実） に なり、その 中に （種子（しゅし）） が できます。

種子は「たね」でも 正かい。

4 けんび鏡に ついて 答えましょう。

24点　よく出る



(1) ア〜エの 名前を 書きましょう。（1つ3点）

ア　接眼（せつがん）レンズ　　イ　対物（たいぶつ）レンズ

ウ　ステージ（のせ台）　　エ　反しゃ鏡

(2) けんび鏡の 使い方です。正しい 順に ならべましょう。（6点）

ア　横から 見ながら、対物レンズと プレパラートを 近づける。
イ　反しゃ鏡を 動かして、明るく 見えるように する。
ウ　のぞきながら、対物レンズと プレパラートを はなして いき、ピントを 合わせる。
エ　対物レンズを、いちばん 低い 倍率の ものに する。

エ → イ → ア → ウ

(3) 接眼レンズ 10倍、対物レンズ 4倍の ときの、けんび鏡の 倍率は 何倍ですか。（6点）　40 倍

(1)は 各3点。(3) けんび鏡の 倍率＝接眼レンズの 倍率×対物レンズの 倍率。10×4＝40（倍）。けんび鏡は、日光が 直接 当たらない 明るい 所で 使う。

5 花粉の 運ばれ方に ついて 答えましょう。

16点　★チャレンジ

(1) ヘチマや カボチャの 花粉は、おもに 何に よって 運ばれますか。（4点）　風　こん虫　水

(2) トウモロコシや マツの 花粉は、おもに 何に よって 運ばれますか。（4点）　風　こん虫　水

(3) めしべの 先は、べたべた して います。これは、どんな ことに 都合が よいですか。（8点）

（例）花粉が つきやすい。（ついた 花粉が 落ちにくい。）

こん虫が 運ぶ 花は、目立つ 花びらや みつが ある ものが 多い。風が 運ぶ 花粉は、小さくて 軽い。

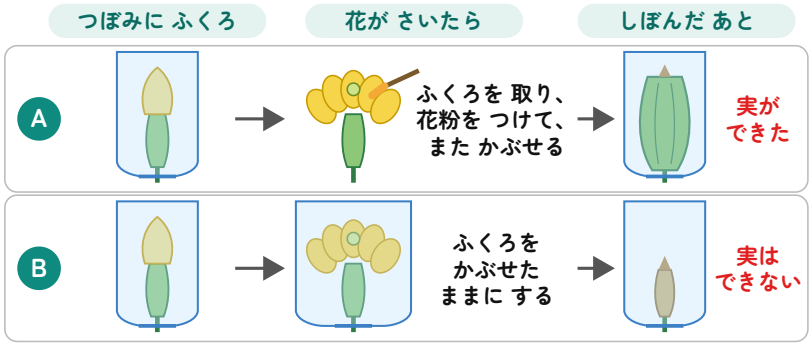
答えを 見たら、もう いちど やって みよう。　赤い 字が 答え。

花から 実へ　② 活用　答え

ステップ 1／6　答え

1 ヘチマで、実が できる ために 受粉が 必要か どうかを 調べました。　40点　よく出る

次の 日に さきそうな めばなの つぼみ A・Bに ふくろを かぶせ、下の 図のように しました。



(1) 実が できたのは、A・Bの どちらですか。（5点）　A

(2) この 実験で 変えた 条件は 何ですか。（5点）

花粉を つけるか、つけないか（受粉させるか どうか）

(3) つぼみの うちに ふくろを かぶせるのは なぜですか。（10点）

（例）花が さいた ときに、自然に 花粉が つかないように するため。

(4) Aに 花粉を つけた あと、また ふくろを かぶせるのは なぜですか。（10点）

（例）花粉を つけるか どうか 以外の 条件を、Bと 同じに するため。

(5) この 実験から わかる ことを 書きましょう。（10点）

（例）実が できる ためには、受粉が 必要で ある。

(4)は「ほかの 花粉が つかないように するため」でも 正かい。調べたい 条件を 1つだけ 変え、ほかの 条件は 同じに する。

2 1の 条件を 書きましょう。　1つ5点（20点）　きほん

	A	B
花粉を	つける	つけない
ふくろを	かぶせる	かぶせる

変える 条件は 花粉を つけるか どうか だけ。ほかの 条件は 同じに する。

3 花粉を けんび鏡で 観察しました。　1つ5点（15点）　きほん

(1) 接眼レンズは 10倍です。全体を 100倍に するには、対物レンズを 何倍に しますか。　10 倍

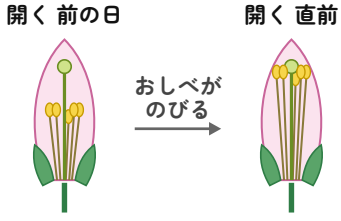
(2) 倍率を 高く すると、見える はんいは…　広く なる　せまく なる

(3) 倍率を 高く すると、明るさは…　明るく なる　暗く なる

(1) 100÷10＝10（倍）。倍率を 高く すると、見える はんいは せまく、暗く なる。

4 アサガオでも 同じ 実験を します。　25点　★チャレンジ

アサガオは、花が 開く 直前に、つぼみの 中で おしべが のびて、**自分の 花粉が めしべに つきます。**



(1) アサガオで 1と 同じ 実験を する とき、つぼみの うちに、何を して おきますか。（10点）

（例）つぼみの 中の おしべを、全部 取りのぞく。

(2) おしべを 取らずに、ふくろを かぶせた ままに した アサガオの 花は、実が できますか。理由も 書きましょう。（15点）

できる。（例）ふくろの 中で、自分の 花粉が めしべに ついて 受粉するから。

(2)は「できる」5点、理由10点。アサガオは 1つの 花に おしべと めしべが あるので、受粉させない 花を つくるには、先に おしべを 取る。

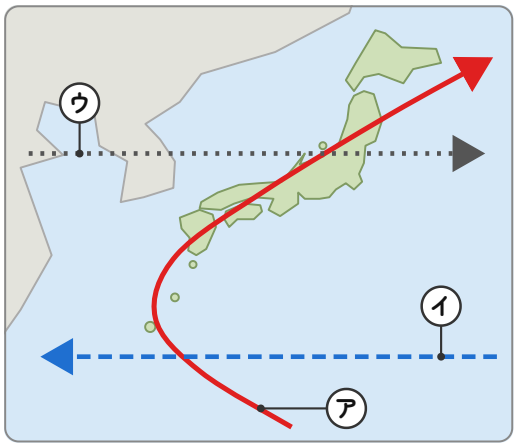
答えを 見たら、もう いちど やって みよう。　赤い 字が 答え。

台風と 天気の 変化　① きほん　答え

ステップ 2／6　答え

1 台風の 動きに ついて 答えましょう。

1つ6点（30点）　よく出る



(1) 台風は、どこで 発生しますか。　日本の 北の 陸の 上　日本の 南の 海の 上

(2) 日本に 多く 近づくのは、いつごろですか。　春から 夏　夏から 秋　冬

(3) 台風の 進み方として よく あるものを、図の ア～ウから えらびましょう。　ア

(4) 雲画像で、台風の 雲は どう 見えますか。　細長い 帯　うずを まいた 大きな 雲

(5) 台風の 動きは、「天気は 西から 東へ 変わる」と いう きまりに あてはまりますか。　あてはまる　あてはまらない

台風は 日本の 南の 海の 上で 発生し、はじめは 西や 北へ 進み、やがて 北や 東へ 向きを 変えて 日本に 近づく ことが 多い。

2 （　）に あてはまる ことばを 書きましょう。

1つ5点（20点）　きほん

・台風が 近づくと、（ 風 ）が 強く なり、短い 時間に 大量の（ 雨 ）が ふります。

・台風が 通りすぎると、（ 晴れる ）ことが 多いです。

・春や 秋の ころの 日本の 天気は、およそ（ 西 ）から 東へ 変わります。

台風の ときの 天気の 変化は、ふだんの「西から 東へ」の きまりでは 考えず、台風の 動きから 考える。

3 台風と わたしたちの くらしに ついて 答えましょう。

1つ6点（30点）　きほん

(1) 台風に よる 災害を、3つ えらんで ○で かこみましょう。

川の 水が あふれる（こう水）　山や がけが くずれる　強い 風で 木や 建物が たおれる

気温が 下がって 雪が 積もる　地面が ゆれて 建物が こわれる

(2) 台風の めぐみを、1つ えらびましょう。　ダムに 水が たまり、水不足が 解消する　空気が かんそうする

(3) 台風が 近づく 前に する ことを、1つ えらびましょう。　海や 川の ようすを 見に 行く　気象情報を 確かめ、ひなん場所を 話し合う

台風は 災害を 起こす いっぽうで、大量の 雨が 水の めぐみにも なる。

4 気象情報に ついて 答えましょう。

1つ5点（20点）　きほん

ア 雲画像　イ アメダスの 雨量情報　ウ 台風の 進路予想図

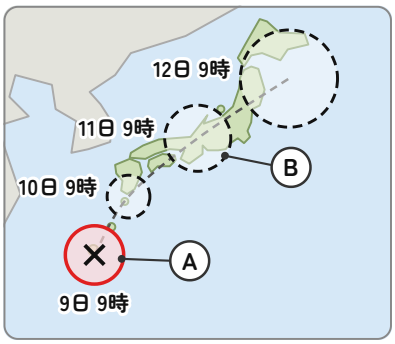
(1)～(3)に あてはまる 気象情報を、上の ア～ウから えらびましょう。

(1) 各地で ふった 雨の 量が わかる。　イ

(2) 雲の 広がりや 動きが わかる。　ア

(3) 台風が これから 進むと 予想される 方向が わかる。　ウ

(4) 右の 進路予想図で、台風の 中心が 進むと 予想される はんい（予報円）を 表すのは、A・Bの どちらですか。　B



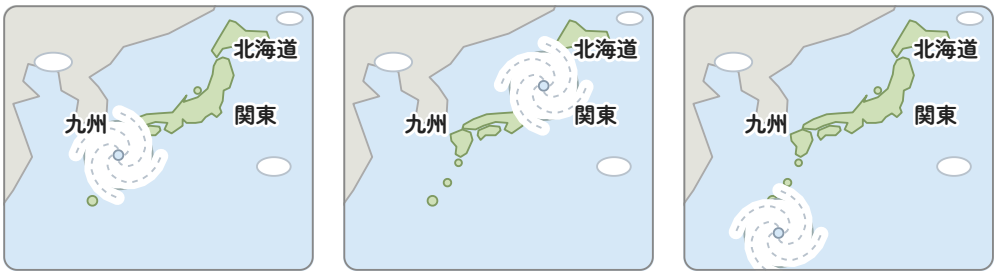
アメダスは、全国 約1300か所で 雨量などを 自動で はかる しくみ。(4) Aは 風が とくに 強い はんい（暴風域）、×は 今の 台風の 中心。

答えを 見たら、もう いちど やって みよう。　赤い 字が 答え。

台風と 天気の 変化　② 活用　答え

ステップ 2／6　答え

1 ある 年の 9月の 3日間の 雲の ようすを、図に 表しました（毎日 同じ 時こく）。　30点　よく出る



ア　イ　ウ

(1) ア〜ウを、日づけの 順に ならべましょう。（全部 できて 10点）　ウ → ア → イ

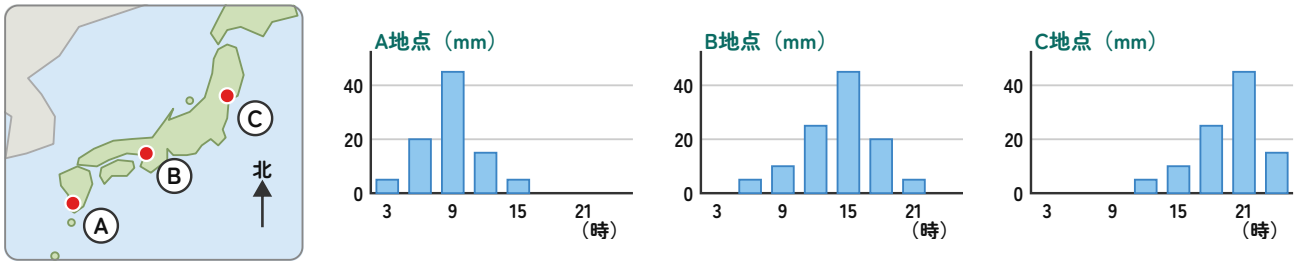
(2) アの とき、強い 雨が ふって いると 考えられるのは どこですか。（5点）　九州 / 関東 / 北海道

(3) (2)のように 考えた 理由を 書きましょう。（15点）

（例）台風の うずを まいた 雲が、九州に かかって いるから。

台風は 南から 北や 東へ 進むので、うずの 雲が 南に ある ウが 1日目、九州の アが 2日目、東北の イが 3日目。

2 台風が 通った 日の、A・B・Cの 3地点の 雨量（3時間ごと）です。　35点　活用



(1) 雨が いちばん 強かった 時こくを 書きましょう。（1つ5点）　A 9 時　B 15 時　C 21 時

(2) 台風が 近づいた 順に、地点の 記号を 書きましょう。（10点）　A → B → C

(3) 地図を 見て 考えましょう。台風は、どの 向きに 進みましたか。（10点）　北東から 南西へ / 南西から 北東へ

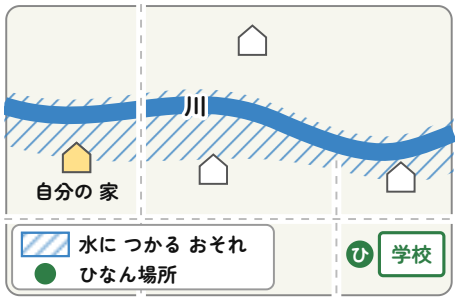
雨が いちばん 強い 時こくが A→B→Cの 順に おそく なって いる。地図で Aは 南西、Cは 北東に あるので、台風は 南西から 北東へ 進んだ。

3 川の 近くに 住んで いる 人の、台風への そなえを 考えましょう。　35点　★チャレンジ

(1) 台風が 来る 前の 日までに して おく ことを、2つ 書きましょう。（1つ5点）

（例）ハザードマップで ひなん場所と 道を 確かめる。

（例）外に ある 物を 家の 中に 入れる。



ハザードマップの 例

(2) 大雨の とき、川の ようすを 見に 行っては いけないのは なぜですか。（15点）

（例）川の 水が 急に 増えて 流れが 速く なり、流される きけんが あるから。

(3) ハザードマップを 見ると わかる ことを、1つ 書きましょう。（10点）

（例）水に つかる おそれが ある 場所。（ひなん場所の 位置。）

(1)は ほかに「気象情報を こまめに 確かめる」「水や 食料を 用意する」なども 正かい。

答えを 見たら、もう いちど やって みよう。　赤い 字が 答え。

流れる 水の はたらき　① きほん　答え

ステップ 3／6　答え

1 流れる 水の 3つの はたらきです。（　）に あてはまる ことばを 書きましょう。

1つ6点（18点）　よく出る

・地面を けずる はたらき ……（しん食）

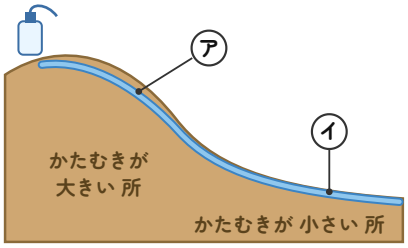
・けずった 土や 石を 運ぶ はたらき ……（運ぱん）

・運んで きた 土や 石を 積もらせる はたらき ……（たい積）

漢字では「 侵食（しんしょく） ・ 運搬（うんぱん） ・ 堆積（たいせき） 」。流れが 速い 所では しん食と 運ぱん、流れが ゆるやかな 所では たい積の はたらきが 大きい。

2 土で 山を つくり、上から 水を 流しました。

1つ6点（24点）　きほん



(1) 水の 流れが 速いのは、ア・イの どちらですか。　ア

(2) 地面が 深く けずられたのは、どちらですか。　ア

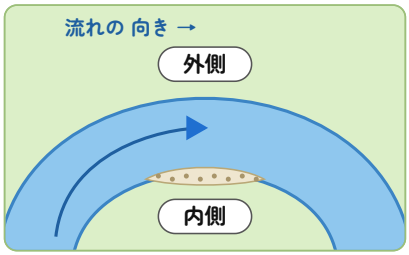
(3) 流された 土が 積もったのは、どちらですか。　イ

(4) 水の 量を 増やすと、けずったり 運んだり する はたらきは…　大きく なる　小さく なる

かたむきが 大きい 所は 流れが 速く、けずる はたらきが 大きい。かたむきが 小さい 所は 流れが ゆるやかで、土が 積もる。

3 曲がって 流れる 川を 上から 見た 図です。外側・内側の どちらかを ○で かこみましょう。

1つ6点（24点）　よく出る



(1) 水の 流れが 速いのは　外側　内側

(2) 岸が けずられて、がけに なりやすいのは　外側　内側

(3) 小石や すなが 積もって、川原が できやすいのは　外側　内側

(4) 川の 底が 深く なって いるのは　外側　内側

外側は 流れが 速い → けずられる（しん食）→ 深い・がけ。内側は 流れが ゆるやか → 積もる（たい積）→ 浅い・川原。

4 川の ようすを、山の 中と 平地で くらべました。

24点　よく出る

(1) それぞれ 正しい ほうを ○で かこみましょう。（1つ3点）

	山の 中（上流）	平地（下流）
川の はば	せまい　広い	せまい　広い
流れの 速さ	速い　ゆるやか	速い　ゆるやか
石の ようす	大きくて 角ばって いる　小さくて 丸い	大きくて 角ばって いる　小さくて 丸い

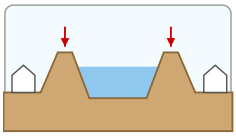
(2) 平地の 石が 小さくて 丸いのは なぜですか。（6点）

（例）流されて いる うちに、石どうしが ぶつかって われたり、角が とれたり するから。

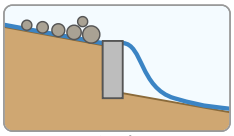
山の 中は 土地の かたむきが 大きいので 流れが 速い。大きな 石は 上流に 残り、下流に いくほど 石は 小さく 丸く なる。

5 川の 災害を 防ぐ くふうです。あてはまる 図を えらび、記号を 書きましょう。

1つ5点（10点）　きほん



ア　てい防



イ　砂防（さぼう）ダム

(1) 川の 水が 増えた とき、水が あふれるのを 防ぐ。　ア

(2) 大雨の とき、土や 石が 一度に 流れるのを 防ぐ。　イ

ほかにも、川岸を 守る ブロックや、水を 一時的に ためる 遊水地などが ある。

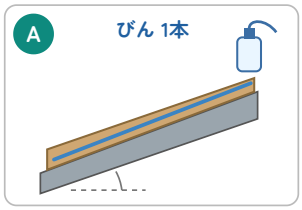
答えを 見たら、もう いちど やって みよう。　赤い 字が 答え。

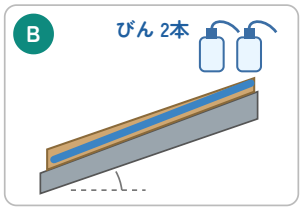
流れる 水の はたらき　② 活用　答え

ステップ 3／6　答え

1 流れる 水の 量と、はたらきの 関係を 調べました。　35点　よく出る

同じ 土で 同じ 形の しゃ面を 2つ つくり、Aは せんじょうびん 1本、Bは 2本で、同じ 時間だけ 水を 流しました。





結果	A	B
けずられた 深さ	浅い	深い
運ばれた 土	少ない	多い

(1)　変えた 条件は 何ですか。（5点）　流す 水の 量

(2)　土が 多く 運ばれたのは、A・Bの どちらですか。（5点）　B

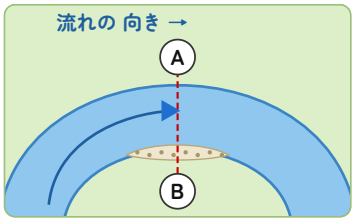
(3)　同じに した 条件を 2つ 書きましょう。（1つ5点）　しゃ面の かたむき　／　土の 種類

(4)　この 結果から わかる ことを 書きましょう。（15点）

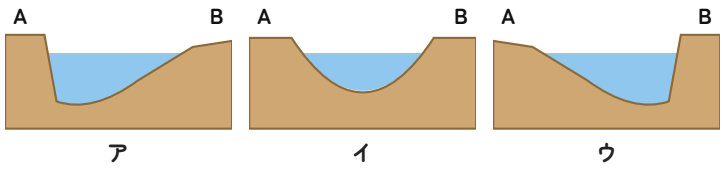
（例）流れる 水の 量が 増えると、しん食や 運ぱんの はたらきが 大きく なる。

(3)は「しゃ面の 形」「水を 流す 時間」でも 正かい。(4)は「水の 量が 増えると」と「はたらきが 大きく なる」の 両方が 書けて 15点。

2 曲がって 流れて いる 川を、上から 見た 図です。　30点　活用



(1)　A―Bで 切った ときの 川の 断面を、ア～ウから えらびましょう。（10点）　ア



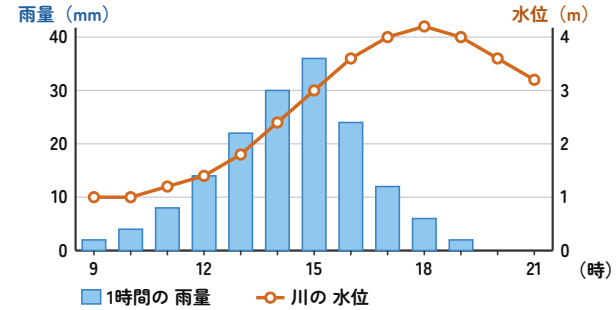
(2)　てい防や ブロックで 岸を 守る 必要が 大きいのは、A側・B側の どちらですか。（5点）　A側

(3)　(2)のように 考えた 理由を 書きましょう。（15点）

（例）曲がった 川の 外側は 流れが 速く、岸が けずられやすいから。

Aは 曲がりの 外側。外側は 深く けずられて がけに なり、内側（B）は 浅くて 川原が できる。(3)は「流れが 速い」「けずられる」の 両方で 15点。

3 大雨の 日の、1時間ごとの 雨量と 川の 水位（水面の 高さ）の グラフです。　35点　★チャレンジ

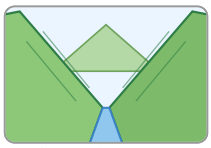


(1)　水位が いちばん 高く なったのは 何時ですか。（5点）　18 時

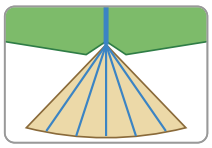
(2)　雨が いちばん 強かった 時こくと くらべて、わかる ことを 書きましょう。川に 近づく ときの 注意も 書きましょう。（15点）

（例）水位は、雨が いちばん 強い ときより おくれて 高く なる。
雨が 弱まっても、すぐに 川に 近づいては いけない。

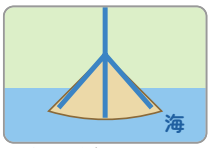
(3)　流れる 水が つくる 地形です。できやすい 場所を、下の ア～ウから えらびましょう。（1つ5点）



V字谷（ブイじこく）　ア



せん状地　イ



三角州（さんかくす）　ウ

V字谷：深く けずられた 谷。
せん状地：土や 石が おうぎの 形に 積もった 土地。
三角州：すなや どろが 積もった 三角形の 土地。
ア 山の 中　イ 川が 山から 平地に 出る 所　ウ 河口の 近く

(1)(2) 雨量は 15時、水位は 18時が 最大。上流に ふった 雨が おくれて 流れて くる。(3) V字谷は しん食、せん状地と 三角州は たい積の はたらきで できる。

答えを 見たら、もう いちど やって みよう。　赤い 字が 答え。

物の とけ方 ① きほん 答え

ステップ 4／6　答え

1 水よう液に ついて 答えましょう。　1つ5点（20点）　きほん

・物が 水に とけて、（ すき通った ）液に なり、とけた 物が 液 全体に（ 広がって ）いる ものを、（ 水よう液 ）と いいます。

・水よう液は どちらですか。　茶色で すき通った コーヒーシュガーの 液　白く にごった でんぷんの 液

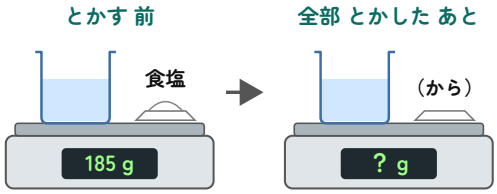
「すき通った」は「とうめいな」でも 正かい。色が ついて いても、すき通って いれば 水よう液。にごって いたり、時間が たつと 下に しずんだり する ものは 水よう液では ない。

2 食塩を 水に とかして、重さを 調べました。　20点　よく出る

(1) 水 100gに 食塩 10gを とかしました。できた 食塩水の 重さは 何gですか。（8点）　110 g

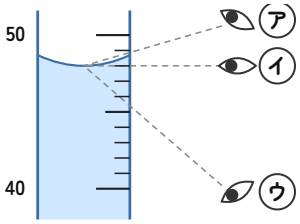
(2) 右の 図で、食塩を 全部 とかした あとの 全体の 重さは 何gですか。（6点）　185 g

(3) 「とけて 見えなく なった 食塩は、なくなった。」これは 正しいですか。（6点）　正しい　正しくない



(1) 100＋10＝110（g）。物は 水に とけて 見えなく なっても、なくなって いない。とかす 前と あとで、全体の 重さは 変わらない。

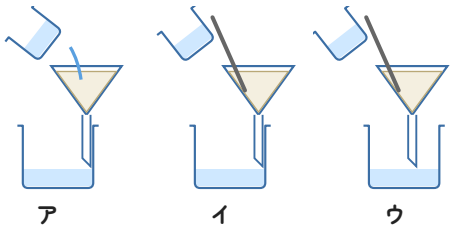
3 メスシリンダーと ろ過に ついて 答えましょう。　24点　よく出る



(1) 目もりを 読む ときの 正しい 目の 位置を、ア～ウから えらびましょう。（4点）　イ

(2) 液面の どこの 目もりを 読みますか。（4点）　へこんだ 下の 面　ふちの 高い ところ

(3) 図の メスシリンダーに 入って いる 水は 何mLですか。（4点）　48 mL



(4) ろ過の しかたが 正しい 図を、ア～ウから えらびましょう。（6点）　イ

(5) ろ過の しかたです。正しければ ○、まちがって いれば ×を えらびましょう。（1つ2点）

液は、ガラスぼうを 伝わらせて 注ぐ。　○　×

ろうとの 先は、ビーカーの かべに つける。　○　×

ろ紙は、かわいた まま ろうとに つける。　○　×

(3) 1目もりは 1mL。へこんだ 下の 面は 48の 目もり。(5) ろ紙は 水で ぬらして、ろうとに ぴったり つける。

4 物が 水に とける 量に ついて、（　）に あてはまる ことばや 数を 書きましょう。　1つ5点（20点）　よく出る

・決まった 量の 水に とける 物の 量には、（ かぎり ）が あります。

・水の 量を 2倍に すると、とける 量は（ 2 ）倍に なります。

・水の 温度を 上げると、ミョウバンの とける 量は（ 増えます ）。

・水の 温度を 上げても、食塩の とける 量は（ ほとんど 変わりません ）。

5 水に とけて いる 物を とり出します。　1つ4点（16点）　きほん

(1) 水よう液を 冷やすと、つぶが 多く 出て くるのは　食塩　ミョウバン

(2) 食塩水から 食塩を とるには　冷やす　水を じょう発させる

(3) (2)の ときに 使う 器具は　じょう発皿　ろうと

(4) つぶを ろ過した あとの 液には、物が　とけて いる　とけて いない

ミョウバンは 温度で とける 量が 大きく 変わるので、冷やすと 出て くる。食塩は 変わらないので、水を じょう発させる。

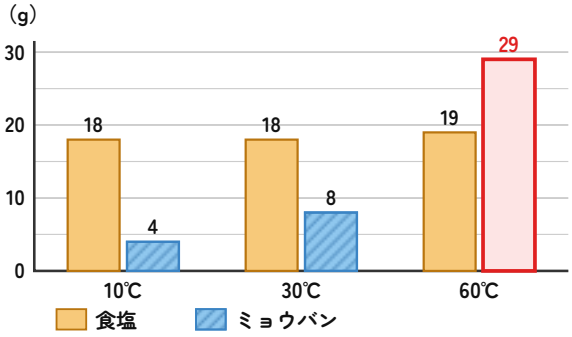
答えを 見たら、もう いちど やって みよう。　赤い 字が 答え。

物の とけ方 ② 活用 答え

1 水 50mLに とける 食塩と ミョウバンの 量を 調べました。 30点 よく出る

水の 温度	10℃	30℃	60℃
食塩	18g	18g	19g
ミョウバン	4g	8g	29g

水 50mLに とける 量（およその 量）



(1) 30℃の 水に 多く とけるのは どちらですか。（5点）　食塩　ミョウバン

(2) 温度に よって、とける 量が 大きく 変わるのは どちらですか。（5点）　食塩　ミョウバン

(3) 表を 見て、グラフの「？」の ところに、ミョウバン 60℃の ぼうを かきましょう。（10点）

(4) 30℃の 水 100mLには、ミョウバンは 何gまで とけますか。（10点）

式 8×2＝16　答え 16 g

(3) 29gの 高さまで ぼうを かく。(4) 水の 量が 2倍に なると、とける 量も 2倍に なる。8×2＝16（g）。式5点、答え5点。

2 60℃の 水 50mLに ミョウバン 25gを とかし、10℃まで 冷やしました。1の 表を 見て 考えます。 25点 活用

(1) 60℃の とき、ミョウバン 25gは 全部 とけますか。（5点）　とける　とけ残る

(2) 10℃まで 冷やすと、何gの ミョウバンが 出て きますか。（10点）

式 25−4＝21　答え 21 g

(3) 60℃の 水 50mLに 食塩 15gを とかして 10℃まで 冷やすと、食塩は 出て きますか。理由も 書きましょう。（10点）

出て こない。（例）10℃でも 18gまで とけるから。

(1) 60℃では 29gまで とける。(2) 10℃では 4gしか とけないので、25−4＝21（g）が 出て くる。(3)は「出て こない」4点、理由6点。

3 実験の 計画 1つ5点（20点） 活用

「水の 量を 増やすと、とける 量は 増えるか」を 調べます。

変える 条件	水の 量
同じに する 条件（3つ）	水の 温度
	とかす 物の 種類
	1ぱいの 量

同じに する 条件は「かきまぜ方」なども 正かい。すり切り 1ぱいずつ 入れ、何ばいまで とけたかを くらべる。

4 学習した ことを 使って 考えましょう。 25点 ★チャレンジ

(1) ビーカーの 底に 食塩が とけ残りました。全部 とかすには、どう すれば よいですか。温めても あまり とけない 理由も 書きましょう。（10点）

水を 加える。（例）食塩は 水の 温度を 上げても、とける 量が ほとんど 変わらないから。

(2) ラベルの ない 2つの ビーカーに、食塩水と 水が 入って います。なめずに 見分ける 方法を、1つ 書きましょう。（10点）

（例）少しずつ じょう発皿に とって 熱する。白い つぶが 残る ほうが 食塩水。

(3) ミョウバンの とけ残りを ろ過した 液を 冷やすと、また つぶが 出て きました。なぜですか。（5点）

（例）ろ過した 液にも ミョウバンが とけて いて、冷やすと とける 量が へるから。

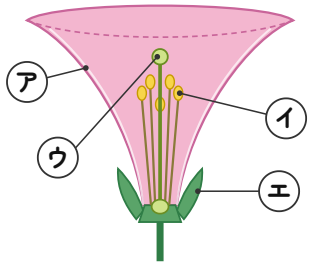
(1)は 方法5点、理由5点。(2)は「同じ 体積の 重さを くらべる（重い ほうが 食塩水）」でも 正かい。理科室の 液は、なめては いけない。

答えを 見たら、もう いちど やって みよう。　赤い 字が 答え。

総合テスト　① きほん　答え

ステップ 5／6　答え

1 花から 実へ　1問10点（30点）　きほん



(1) 花粉が つくられるのは、ア〜エの どこですか。記号と 名前を 書きましょう。　イ　おしべ

(2) 花粉が めしべの 先に つく ことを、何と いいますか。　受粉

(3) 接眼レンズが 15倍、対物レンズが 10倍の とき、けんび鏡の 倍率は 何倍ですか。　150 倍

まちがえたら ステップ1「花から実へ」へ。　(1)は 記号と 名前の 両方で 10点。(3) 15×10＝150（倍）。

2 台風と 天気の 変化　1問10点（20点）　きほん

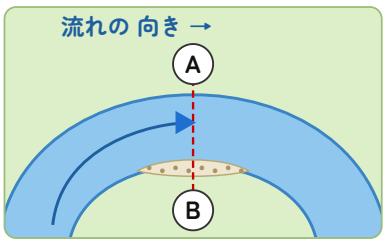
(1) 日本に 近づく 台風の 進み方を えらびましょう。　西から 東へ まっすぐ 進む　南から 来て、北や 東へ 進む

(2) 台風が 近づいた ときの 天気を えらびましょう。　風が 強く なり、大量の 雨が ふる　晴れて 風が 弱く なる

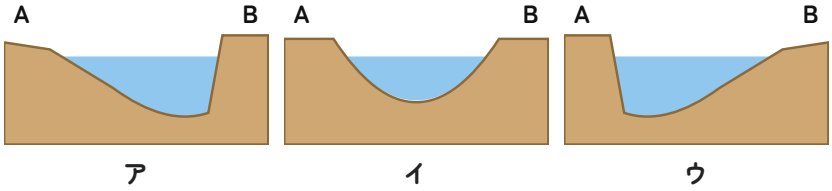
まちがえたら ステップ2「台風と天気の変化」へ。　台風は 日本の 南の 海の 上で 発生する。大雨で こう水や 土しゃくずれが 起こる ことが ある。

3 流れる 水の はたらき　1問10点（30点）　きほん

(1) 流れる 水が 地面を けずる はたらきを、何と いいますか。　しん食



(2) 曲がって 流れる 川を A—Bで 切った ときの 断面を、ア〜ウから えらびましょう。　ウ



(3) 山の 中（上流）の 石の ようすを えらびましょう。　大きくて 角ばって いる　小さくて 丸い

まちがえたら ステップ3「流れる水のはたらき」へ。　(2) Aは 曲がりの 外側。外側は 流れが 速く、深く けずられて がけに なる。内側は 浅くて 川原が できる。

4 物の とけ方　1問10点（20点）　きほん

(1) 水 50gに 食塩 8gを とかしました。できた 食塩水の 重さは 何gですか。　58 g

(2) ミョウバンの 水よう液から、ミョウバンの つぶを とり出す 方法を 1つ えらびましょう。　水よう液を 冷やす　水を 加える　よく かきまぜる

まちがえたら ステップ4「物のとけ方」へ。　(1) 50＋8＝58（g）。(2) 水を じょう発させても とり出せる。

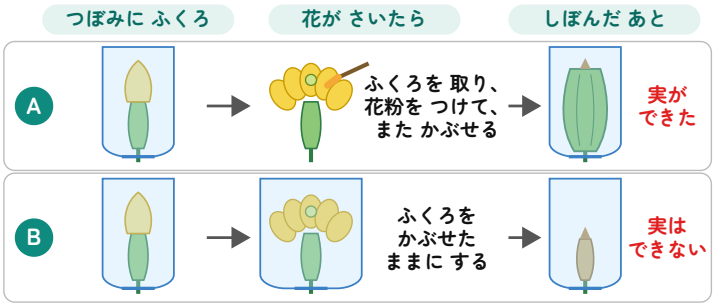
答えを 見たら、もう いちど やって みよう。　赤い 字が 答え。

総合テスト ② 活用 答え

ステップ 6／6　答え

1 ヘチマの めばなの つぼみ A・Bに ふくろを かぶせて、実の でき方を 調べました。

1問10点（20点）　活用



(1) つぼみの うちに ふくろを かぶせるのは なぜですか。

（例）自然に 花粉が つかないように するため。

(2) 結果から わかる ことを 書きましょう。

（例）実が できる ためには、受粉が 必要で ある。

まちがえたら ステップ1「花から実へ」へ。　Aだけに 実が できる。

2 台風に ついて 答えましょう。

1問10点（20点）　活用



(1) 3日間の 雲の ようすです。日づけの 順に ならべましょう。

イ → ウ → ア

(2) 進路予想図の「予報円」が 表す ものを えらびましょう。

台風の 雲の 大きさ

台風の 中心が 進むと 予想される はんい

まちがえたら ステップ2「台風と天気の変化」へ。　台風は 南から 北や 東へ 進む。

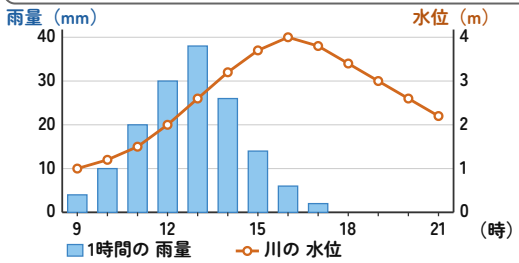
3 流れる 水の はたらきに ついて 答えましょう。

1問10点（30点）　活用

(1) 「流す 水の 量」と 土の けずられ方の 関係を 調べる とき、同じに する 条件を 1つ 書きましょう。　しゃ面の かたむき

(2) 川が 曲がって いる 所では、外側の 岸に ていぼうや ブロックを つくります。その 理由を 書きましょう。

（例）外側は 流れが 速く、岸が けずられやすいから。



(3) 大雨の 日の 雨量と 川の 水位の グラフです。水位が いちばん 高く なったのは、雨が いちばん 強かった 時こくの 何時間後ですか。

3 時間後

まちがえたら ステップ3「流れる水のはたらき」へ。　(1)は「土の 種類」「水を 流す 時間」でも 正かい。(3) 雨量は 13時、水位は 16時が 最大。

4 水 50mLに とける 量の 表を 見て 答えましょう。

1問10点（30点）　活用

水の 温度	10℃	30℃	60℃
食塩	18g	18g	19g
ミョウバン	4g	8g	29g

水 50mLに とける 量（およその 量）

(1) 60℃の 水 100mLには、ミョウバンは 何gまで とけますか。　58 g

(2) 60℃の 水 50mLに ミョウバン 20gを とかし、30℃まで 冷やすと、何gの ミョウバンが 出て きますか。　12 g

(3) 食塩水から 食塩を とり出す ときは、冷やすより 水を じょう発させる ほうが よいです。その 理由を 書きましょう。

（例）食塩は、水の 温度が 変わっても、とける 量が ほとんど 変わらないから。

まちがえたら ステップ4「物のとけ方」へ。　(1) 29×2＝58（g）。(2) 30℃では 8gまで とけるので、20−8＝12（g）。

答えを 見たら、もう いちど やって みよう。　赤い 字が 答え。